

近郊版

障害者就労 大事なことは
春日井で「桃山会」がセミナー



障害者就労の種類と特徴について解説する藤井さん(左)＝春日井市浅山町1の市総合福祉センターで

発達障害や知的障害がある子の親でつくる春日井市の「桃山会」が、同市浅山町の市総合福祉センターで、障害のある子を育てる親向けに就労に関するセミナーを開いた。約三十人が参加し、わが子の将来の就労環境や資産形成について知識を深めた。

基礎知識として福祉的就労に当たる就労継続支援事業所と、企業や公的機関などへの一般就労の特徴を解説。「就労をどう捉えるのが重要」と指摘し、居場所や収入、リフレッシュなど「求めること」を明確にするべきだと話した。

渡辺さんは「就労選択とお金」と題して、就労や療育の形態と、それに応じた資産形成の考え方を紹介。「大事なのは働き続け、居場所があるということ。無理して一般就労を選ぶなど一力所に固執せず、選択は柔軟に」とアドバイスした。(小林大晃)

